

# 安全データシート

作成日 2018年 1月16日

改訂日 2022年 5月 9日

## 1.製品及び会社情報

製品名： OSクール工法 上塗り材 Si用シンナー

会社名： オバナヤ・セメントックス株式会社

住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339

電話番号： 0594-72-6488

FAX番号： 0594-72-6253

担当部門： 製造部 工場管理課

整理番号： M3305-3

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類

引火性液体：	区分3
皮膚腐食性／刺激性：	区分2
発がん性：	区分2
生殖毒性：	区分1B
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	区分2、区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	区分2
誤えん有害性：	区分1
水生環境有害性 短期(急性)：	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)：	区分1

### GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性液体及び蒸気  
皮膚刺激  
発がんのおそれの疑い  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害のおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

有害性  
有機溶剤中毒を起こすおそれがある。

物理的及び化学的危険性  
燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発のおそれがある。

### 3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量	CASNo.	化審法番号	化審法政令番号
ミネラルスピリット	90 ～ 100%	8052-41-3	9-1702	—
1,3,5-トリメチルベンゼン	5.3%	108-67-8	3-7;3-3427	1-297
エチルベンゼン	1.5%	100-41-4	3-28;3-60	1-053
キシレン(異性体混合物)	2.4%	1330-20-7	3-3;3-60	1-080

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ミネラルスピリット, 1,3,5-トリメチルベンゼン, エチルベンゼン, キシレン(異性体混合物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ミネラルスピリット, 1,3,5-トリメチルベンゼン, エチルベンゼン, キシレン(異性体混合物)

化管法「指定化学物質」該当成分

1,3,5-トリメチルベンゼン, エチルベンゼン, キシレン(異性体混合物)

### 4.応急措置

- 一般的な措置： 気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。
- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 直ちに医師の診断／手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。  
 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 衣類にかかった場合、服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。  
 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。眼をこすらせてはならない。  
 眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。  
 医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。
- 医師に対する特別な注意事項： 特別な処置が必要である。

### 5.火災時の措置

- 消火剤： 泡、粉末、炭酸ガス
- 不適切な消火剤： 水を使用してはならない。
- 特有の危険有害性： 加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
 火災によって刺激性、有毒又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火を行う者の保護： 適当な距離から注意して消火すること。  
 関係者以外は安全な場所に退去させる。  
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
 安全に対処できるならば漏洩を止めること。  
 防火服／防炎服／耐火服を着用すること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項／

- 保護具及び緊急時措置： 区域より退避させる。  
 回収が終わるまで十分な換気を行う。  
 換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。  
 適切な保護具を着用する。  
 こぼれた場所はすべりやすいため注意する。  
 着火源を取除くとともに換気を行う。

- 風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。  
封じ込め及び浄化の  
方法・機材： 乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて、容器に回収する。  
多量に流失した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 二次災害の防止策： 漏出物を回収すること。  
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。  
安全に対処できるならば漏洩を止めること。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙  
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
排気／換気設備を設ける。  
皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。  
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。  
使用前に取扱説明書入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。指定された個人用保護具を使用すること。  
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。休憩、終業時はうがいをする。  
取扱い中は飲食、喫煙をしてはならない。  
妊娠中／授乳中は接触を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
汚染された作業衣を再使用する場合には、洗濯をすること。  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
指定温度以下の涼しいところに置くこと。  
国際／国／地方の規則に従って保管すること。  
施錠して保管すること。  
日光から遮断し、50℃以上の温度に暴露しないこと。  
飲食物、動物用飼料から離して保管する。
- 保管上の注意：

## 8.暴露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度：

成分名	管理濃度	許容濃度
エチルベンゼン	<= 20 ppm 作業環境評価基準(2012)	50 ppm; 217 mg/m <sup>3</sup> 日本産衛学会(2001) 20 ppm(上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷); ACGIH(2010)TWA
キシレン(異性体混合物)	<= 50 ppm 作業環境評価基準(2004)	50 ppm; 217 mg/m <sup>3</sup> 日本産衛学会(2001) 100 ppm; ACGIH(1992)TWA 150 ppm(上気道及び眼刺激; 中枢神経系損傷); ACGIH(1992)STEL
1,3,5-トリメチルベンゼン	—	25 ppm; 120 mg/m <sup>3</sup> 日本産衛学会(1984)
ミネラルスピリット	—	100 ppm(眼、皮膚及び腎臓障害; 吐気; 中枢神経系損傷); ACGIH(1980)TWA

- 設備対策： 適切な換気のある場所で取扱う。  
手洗い、洗顔設備を設ける。

### 保護具

- 呼吸器の保護具： 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。  
手の保護具： 保護手袋を着用する。  
眼の保護具： 保護眼鏡／顔面保護具を着用する。  
皮膚及び身体の保護具： 保護衣を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質

物理状態:	粘稠液状
臭い:	溶剤臭
沸点又は初留点及び 沸騰範囲:	195°C
引火点:	42.0°C
自然発火点:	470°C
pH:	適用外

## 10.安定性・反応性

安定性: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 11.有害性情報

急性毒性 経口: [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	rat LD50=3500 mg/kg(EHC 186,1996)
キシレン(異性体混合物)	rat LD50=3500-8800 mg/kg(NITE 有害性評価書,2008)

急性毒性 経皮: [日本公表根拠データ]

キシレン(異性体混合物)	rabbit LD50=1700 mg/kg(EPA Pesticide,2005)
--------------	--

急性毒性 吸入: [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	vapor:rat LC50=4000 ppm/4hr(PATTY 6th,2012)
キシレン(異性体混合物)	vapor:rat LC50=6350-6700 ppm/4hr(NITE 有害性評価書,2008)

労働基準法; 疾病化学物質

キシレン(異性体混合物)

皮膚腐食性/刺激性: [日本公表根拠データ]

1,3,5-トリメチルベンゼン	ラビット 中等度から重度(NITE 初期リスク評価書,2008)
キシレン(異性体混合物)	ラビット 紅斑、浮腫、壊死(NITE 有害性評価書,2008)
ミネラルスピリット	ラビット 中等度の刺激性(EHC 187,1996)

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	ラビット 軽度の刺激性(EHC 186,1996)
1,3,5-トリメチルベンゼン	ラビット 軽度の刺激性(NITE 初期リスク評価書,2008)
キシレン(異性体混合物)	ラビット 軽度から中等度の刺激性(NITE 有害性評価書,2008)

感作性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性: [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	IARC(2000) 2B et al
エチルベンゼン	IARC- Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
キシレン(異性体混合物)	IARC- Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない
エチルベンゼン	ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
キシレン(異性体混合物)	ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
エチルベンゼン	日本産業衛生学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
ミネラルスピリット	EU-発がん性カテゴリ 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性: [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	cat1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書,2014
キシレン(異性体混合物)	cat1B; ATSDR,2007

催奇形性: データなし

特定標的臓器毒性(単回暴露):

[区分1]; [日本公表根拠データ]

キシレン(異性体混合物)	中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓(NITE 有害性評価書,2008)
--------------	-----------------------------------

[区分3(軌道刺激性)]; [日本公表根拠データ]

ミネラルスピリット	気道刺激性(ACGIH 7th,2001)
1,3,5-トリメチルベンゼン	気道刺激性(NITE 初期リスク評価書,2008)
エチルベンゼン	気道刺激性(環境省リスク評価第13巻,2015)

## [区分3(麻酔作用)] ; [日本公表根拠データ]

ミネラルスピリット	麻酔作用(ACGIH 7th,2001)
1,3,5-トリメチルベンゼン	麻酔作用(NITE 初期リスク評価書,2008)
エチルベンゼン	麻酔作用(ATSDR,2010)
キシレン(異性体混合物)	麻酔作用(NITE 有害性評価書,2008)

## 特定標的臓器毒性(反復暴露):

## [区分1] ; [日本公表根拠データ]

1,3,5-トリメチルベンゼン	中枢神経系、呼吸器(ACGIH 7th,2001;環境省リスク評価第 11 巻,2013)
キシレン(異性体混合物)	神経系、呼吸器(NITE 有害性評価書,2008)

## [区分2] ; [日本公表根拠データ]

ミネラルスピリット	肝臓、精巣(HSDB,2005)
エチルベンゼン	聴覚器(ACGIH 7th,2011)

## 誤えん有害性:

## [区分1] ; [日本公表根拠データ]

ミネラルスピリット	cat 1 ; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.87-1.94 mm <sup>2</sup> /s(25°C)
-----------	---

## その他情報:

この調合製品自体のデータは得られていない。

## 12.環境影響情報

## 生態毒性

水性毒性 : 水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 水生毒性(急性) : 成分データ

## [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	甲殻類(バイシュリンブ) LC50 = 0.42 mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書,2007)
1,3,5-トリメチルベンゼン	甲殻類(オオミジンコ) LC50 = 6 mg/L/48hr(環境省,2002)
キシレン(異性体混合物)	魚類(ニジマス)LC50 = 3.3 mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書,2005)
ミネラルスピリット	甲殻類(オオミジンコ) LC50 = 0.42-2.3 mg/L/48hr (EHC,1996)

## 水生毒性(長期間) : 成分データ

## [日本公表根拠データ]

エチルベンゼン	甲殻類(ネコゼミジンコ) NOEC = 0.956 mg/L/7days (環境省リスク評価第 13 巻,2015)
---------	--

## 水溶解度:

エチルベンゼン	0.015g/100ml(20 C)(ICSC,2007)
1,3,5-トリメチルベンゼン	非常に溶けにくい(ICSC,2002)
ミネラルスピリット	溶けない(ICSC,2004)

## 残留性・分解性:

キシレン(異性体混合物)	急速分解性がなく(BODによる分解度: 39%(NITE 初期リスク評価書,2005))
ミネラルスピリット	BODによる分解度: 12-13%(EHC187.1996)
エチルベンゼン	急速分解性がなく(良分解性:標準法におけるBODによる分解度: 0%(通産省公報,1990))
1,3,5-トリメチルベンゼン	BODによる分解度: 0%(既存化学物質安全性点検データ)

## 生体蓄積性:

ミネラルスピリット	log Pow = 3.16 through 7.06 (ICSC,2004)
エチルベンゼン	log Kow = 3.15 (PHYSPROP Database,2005)
1,3,5-トリメチルベンゼン	log Pow = 3.42 (ICSC,2002);BCF=3.42(Check & Review,Japan)
キシレン(異性体混合物)	log Pow = 3.16 (PHYSPROP Database,2005)

## その他情報:

この調合製品自体のデータは得られていない。

## 13.廃棄上の注意

## 残余廃棄物:

環境への放出を避けること。  
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
承認された廃棄物集積場で処理する。  
環境汚染を防止するために適切な容器等を使用する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号：	1263
品名(国連輸送名)：	塗料又は塗料関連物質
国連分類：	(輸送における危険有害性クラス)3
容器等級：	Ⅲ
指針番号：	128
特別規定番号：	163;223;367;A3;A72;A192
特定の安全対策：	直射日光、雨に暴露されないように運搬する。
バルク輸送における MARPOL 条約附属書Ⅱ 改訂有害液体物質及び IBC コード	
有害液体物質(X類)	1,3,5-トリメチルベンゼン
有害液体物質(Y類)	エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物)

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：	特化則 特定化学物質第2類 特別有機溶剤等 有機側 第3種有機溶剤等 エチルベンゼン ミネラルスピリット 名称表示危険/有害物 エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);;1,3,5-トリメチルベンゼン;ミネラルスピリット 名称通知危険/有害物 エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);1,3,5-トリメチルベンゼン;ミネラルスピリット 別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係) 危険物・引火性の物(30℃≦引火点<65℃) 健康障害防止指針公表物(法第28条第3項) エチルベンゼン
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法)：	第1種指定化学物質 エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);1,3,5-トリメチルベンゼン
消防法：	第4類 引火性液体第2石油類 危険等級Ⅲ
化審法：	
優先評価化学物質	エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物);1,3,5-トリメチルベンゼン
悪臭防止法：	キシレン(異性体混合物)
大気汚染防止法：	有害大気汚染物質(中環審第9次答申) エチルベンゼン;キシレン(異性体混合物)
船舶安全法：	引火性液体類 分類3
航空法：	引火性液体類 分類3
水質汚濁防止法：	指定物質 キシレン(異性体混合物)
適用法規情報：	この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

## 16. その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。